

蛇の目跡地内の 大深度井戸水を活用せよ

篠原ひろし(改革連合)

蛇の目ミシン工場跡地には、地下250メートルの大深度井戸が残されている。現在災害時用として維持されているが、水質、水量共に通常時でも使用できる良好な状態とのである。この資源を活用し、「黄金井水」ブランドのボトル詰めを製作、頒布、販売し、「水の小金井市」



を宣伝し、併せて我が市の雨水浸透枡普及施策への理解と成果を内外に発信して、地下水涵養の大切さを啓蒙しよう。日本人は水に対する評価・価値観を持っているので、小金井市の水をアピールして、我が市に対する価値観を高めるような検討を始めていただきたい。

環境部長 市民・事業者の理解と協力により、小金井市の雨水浸透枡の設置率は世界一と言われている。提案については、先進の昭島市「あきしまの水」ブランド事業を参考に研究したい。

市長 ご指摘のとおり、本市の地下水に関する施策は誇れる取組。取水して活用し、関心を高めることには同感である。



各自自治体が製作・販売しているペットボトルウォーター

子どもの多様な学びの 権利の保障を

片山 薫(緑・市民自治)

①(ア)不登校児童・生徒が通うもくせい教室は、小中学生とも同じ教室だが、別にすべきでは。トイレの修繕と洋式化を。指導員に若い世代を。移転の検討は。支援体制を整えるべき。(ウ)子どもの権利条約制定10周年に向けた市の取組は。



指導室長 (ア)本来は小中学生は別々の部屋が良い。トイレの修繕は依頼中。指導員は適切な者を配置する。移転については関係各課と連携を図る。(イ)日本語指導の充実を図るため、関係機関を研究する。

子ども家庭部長 (ウ)平成31年度の秋を目途に、子どもたちの意見を聞いて、子どもの権利条約

例制定10周年の冠行事の実施を検討中。

②(ア)生活保護世帯の大学・専門学校への進学相談に対する対応や支援は。(イ)生活保護の窓口カウンターに仕切りの設置を。

福祉保健部長

(ア)制度の案内をし、希望が叶うよう支援している。高校生のアルバイト収入認定除外も説明。(イ)設置した。



もくせい教室の看板

■その他、社会教育施設は全ての人に開かれた、誰でも参加できる場であると考えたことから、新福祉会館計画の見直しについて質問しました。

福祉会館跡地の地上権は 適切な時価で処分を

渡辺大三(情報公開)

①地上権は、底地所有者の意向と無関係に第三者に売却も可能な「市民の財産」であり、市民に理解される「適切な時価」で処理する必要があるのではないかと。また、市が地上権を売る場合、買っていたかどうかが、どのぐらいの価格で買っていた



だけるか、1者にも確認はしたのか。(イ)今からでも、5者から10者に打診して、市民(市)にとって有利な価格で財産処理を決めるとい慎重な対応をとるべきではないか。

総務部長 (ア)今回、地上権合意解除の和解という提案をするが、総合的に見て、和解という選択をしている。(イ)2者鑑定を

している。一応価格については検証している。

②大きな樹木は、非常に大きな価値がある。蛇の目ミシン工場跡地(庁舎建設予定地)の既存樹木を保全すべく、基本設計発注の段階までに、どの樹木を残すのか、検討を。

総務部長 早めに対応を考えなければならぬとの問題意識は持っており、検討を進めたい。その他、リサイクル事業所は廃止せず、中央線高架下スペースの活用も含めて、存続させるよう提案しました。



市が地上権を持つ福祉会館跡地

緑小学校トイレの改善 債権管理について

湯沢綾子(自民党・信頼)

①緑小学校の児童から、てんとう虫が密集する等トイレが汚いのを改善して欲しいと相談を受けた。この要望を伝えたところ、担当部署や校長先生が一緒に真摯に考えてくれたと伺っており、感謝申し上げます。抜本的な解決には改修が難しく、すぐには難しいと思うが、どの



ように対応していただけるか。学校教育部長 窓枠をテープで覆うことも検討したが難しい。先生に伝えてくれれば清掃等で適切に対応する。子どもたちの声を大切に、学校の快適な環境作りを心掛けたい。

②市は税以外に主要なもので1億4千万円を超える未収債権を有する。その管理は各担当部

小金井市の施設について 市の防災について

吹春やすたか(自民党・信頼)

①小金井市の管理している施設について。(ア)市ホームページ上の市役所庁舎の案内が、利用者にとって非常に不便である。表現を変えることによって、使いやすく、アクセスしやすくなるのでは。(イ)庁舎内の、市民の方々が利用される頻度が高い所に点字ブロックの導入を検討しな



いか。(ウ)新庁舎竣工後、現状でもアクセス状況の悪い貫井北町地域について、どのように考えているか。

総務部長 (ア)どうすれば分かりやすい案内ができるか研究・検討したい。(イ)費用対効果を含め、どのような形が検討できるか、課題と捉える。

都市整備部長 (ウ)民間路線バスやココバス等、全体的な見直しを実施する。貫井北町地域についても検討課題として認識。

②市の防災について。(ア)小金井市消防団に女性消防団員導入の考えは。(イ)自然災害発災時のために、市職員の「安否確認サービス」を導入しないか。

総務部長 (ア)広報、応急手当等、役割は多岐にわたる。消防団幹部や現場の意見を伺いながら、進めていきたい。(イ)システム導入は必要であると認識している。他市の取組を参考に、検討したい。

都市計画道路について 市長は明確な対応を

森戸洋子(日本共産党)

①市民の命綱である母子・父子自立支援員を、正規職員1名から非常勤職員2名に変更しようとしている。正規職員1名体制を2名に拡充し、相談者に寄り添える体制の更なる充実を。子ども家庭部長 正規職員でなくても、相談員の増員により、ひとり親家庭や女性の自立の推進が図られる。



市長 ご心配のないように対応していきたい。

②(ア)都市計画道路の意見交換会について、事業化を前提とするのではなく、市民からの意見を聞く場にするよう都に要請しないか。また、都市計画マスタープランはアンケート調査を実施し、前倒しで見直さないか。

(イ)都立武蔵野公園の整備計画は、都市計画道路の整備が前提。自然を壊す計画の見直しを都に求めるべきではないか。(ウ)緑と自然を残すために環境保全推進都市宣言を行わないか。

都市整備部長 (ア)市民や議員の意見は都に伝えたい。マスタープランの改定は上位計画のスケジュールに沿うため難しい。環境部長 (イ)生態系への配慮を行っていただくよう意見を述べている。都の事業を見守りた



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。